

麻疹 (はしか)

乳児期後半から幼児期に多い感染症で、発熱、咳、くしゃみなどの上気道の症状や特有な発疹の出る感染力の強い疾患です。

肺炎、中耳炎、喉頭炎(クループ)、脳炎などを合併することもあります。

春から夏にかけて流行しますが、最近は年間を通じて発生しています。



潜伏期間

10~12日間程度



感染させるおそれのある期間

症状が出現する1日前(発疹出現の3~5日前)から発疹出現後4~5日目くらいまで

※感染力が最も強いのは、発疹前の咳の出はじめたころです。

※学校は解熱後3日を経過するまで出席停止となります。



感染経路

- ・空気感染
- ・飛沫感染



症状

□カタル期(2~4日間)

38℃以上の発熱、倦怠感、上気道炎症状(咳、鼻水、くしゃみなど)と結膜炎症状(結膜充血、目やに、光をまぶしく感じるなど)が現れて次第に強くなります。

※麻疹に特徴的な症状で、発疹が現われる1~2日前ごろに頬粘膜(口の中の頬の裏側)にやや隆起した1mm程度の小さな白色の小さな斑点(コプリック斑)が出現します。(発疹出現後2日目を過ぎるころまで)

□発疹期(3~5日間)

熱がいったん下がりかけ、再び高熱が出て、赤い発疹が生じます。

発疹は耳の後ろから顔面にかけて出はじめ、身体全体に広がります。赤い発疹が消えた後に褐色の色素沈着が残るのが特徴です。

□回復期

解熱し、全身状態、元気さが回復し、症状も次第に軽快してきます。

発疹は黒ずんだ色素沈着となり、しばらく残ります。合併症のないかぎり7～10日後には主症状は回復します。

リンパ球機能などの免疫力が低下するため、しばらくは他の感染症に罹ると重症になりやすいため、注意が必要です。



治療法

対症療法

※中耳炎、肺炎など細菌性の合併症を起こした場合には抗菌薬の投与が必要です。



予防法

- ・予防接種
- ・空気感染するため、手洗いやマスクでは予防ができません。
- ・麻疹患者と接触後、緊急(72時間以内)に麻疹含有ワクチンの接種を受けることで、発症を予防できる可能性があります。